

レポート名

クジラ船祭りについて

名前

厚地 春香

きっかけ

富田小学校の総合の時間に、鯨船祭りについて学習をしたから。

祭りの名前

クジラ船祭り

開催日

令和7年9月27～28日

開催地

三重県四日市市富田地区



どんな祭りか

昔伊勢参りに来たクジラを漁師が船を出してやりでしとめてしまいました。それから魚がとれなくなってしまいました。それから漁師は、船で作った、クジラをやりでしとめる祭りを続けることにして、今にもつながっている祭りです。

調べたこと

私は、クジラ船祭りの4つの組のことについて調べました。

クジラ船には、4つの組があり、北島組、中島組、南島組、古川町の4つの組があります。

北島組のチームカラーは紫色で、クジラ船の名前は、神社丸と言います。中島組のチームカラーは、えんじ色で、クジラ船の名前は、神徳丸です。南島組のチームカラーは、こん色で、クジラ船の名前は、感おう丸です。古川町のチームカラーは、青色で、クジラ船の名前は、権現丸です。

クジラ船の重さ約2トン高さ約3,5mで、約人間3人分、長さ約7,5m約7人で手をつないだらいいです。

クジラ船は、1781年(240年くらい前江戸時代)から、始まったお祭りです。2016年に、ユネスコ無形文化遺産に登録され、大事なお祭りの1つとなりました。親子クジラを捕獲した漁師たちの後悔にまつわる民話が深く関わっています。

名前

厚地 春香



参考

鯨船保存会の方々のお話

校内発表会での取り組み

私は、演技グループのサンパライという役をしました。サンパライは、クジラをあやつれる係です。サンパライは、棒をもってあやつります。その棒は、カラフルで、布で飾られています。青や赤、白、黄色などで飾られています。サンパライは、船に乗って踊る人と同じようにピンク色や水色のリボンのようなものを付けます。男の子は、水色のリボンで、女の子は、ピンク色のリボンをつけました。リボンをつけてくれたのはくじら船発表会をつつだってくれた人でリボンは、まつりでつけていそうな感じでした。

練習中に、くじら船保存会の方に「くじらがどんな動きをするか考えて、自分でも考えて動きなさい。」と教えてもらいました。船と反対方向に棒を回したり、くじらの様子をよく見たりしました。とてもむずかしかかったけど、当日は教えていただいたことができました。

名前

厚地 春香



写真の説明

この写真は、くじら船発表会の写真です。

くじら船祭りの課題とこれからについて

今、クジラ船祭りに参加している人が減ってきていて困っているのです、私たち富田小学校4年生がクジラ船祭りの伝統を引きついでいくためにどうすればいいのか、みんなで考えました。

みんながクジラ船祭りに参加できるかどうかは、わかりません。でも、皆さんに、クジラ船祭りの良さを伝えることは、出来たと思います。

これからについては、そのクジラ船祭りに参加をたり、皆さんに伝えたりしながら、クジラ船祭りの伝統やすてきなところを引きついでいこうと、思いました。

名前

厚地 春香

